

イオウ・カンフルローション

500mL

2.適用上の注意

眼又は眼の周囲には使用しないこと。

【取扱い上の注意】

〈貯法〉

- (1) 気密容器
- (2) 開封後は冷所に保管すること。

〈注意〉

- (1) 本剤を小分けするときは容器をよく洗い、本剤をよく振り混ぜて、成分が均等になるように小分けすること。
- (2) 使用時他の薬剤、化粧品が混入しないようにすること。
- (3) 空気中の炭酸ガスを吸収して炭酸カルシウムの浮遊物が見られることがある。

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部

JAN

GS1-RSS



キャップ:PP
ボトル:PE

製造番号

使用期限



皮膚軟化剤

イオウ・カンフル ローション「東豊」

日本薬局方
イオウ・カンフルローション

Sulfur and Camphor Lotion

500mL

日本標準商品分類番号	872669
承認番号	16000AMZ05459
薬価収載	2008年 7月
販売開始	1977年10月
再評価結果	1983年 4月

貯法：取扱い上の注意の項参照

使用期限：製造の翌月から3年

注意：取扱い上の注意の項参照

【禁忌(次の患者には使用しないこと)】

本剤に対して過敏症の既往歴のある患者



ヨシダ製薬

発売元
吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10

製造販売元
東豊薬品株式会社
東京都葛飾区西新小岩4-15-3

2008年 7月改訂(第4版)
(販売名併記、新コード併記)
2005年 7月改訂(第3版)
(薬事法改正による表示変更)

皮膚軟化剤

イオウ・カンフル ローション「東豊」

日本薬局方
イオウ・カンフルローション

Sulfur and Camphor Lotion

【組成・性状】

組成：1mL中 イオウ 60mg、dl-カンフル5mg、
添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、エチルパラベン、
ブチルパラベン、エタノールおよびpH調整剤を含む。
性状：本剤は淡黄色の懸濁液で、放置するとき、成分の一部を分離する。

【効能・効果】

痤瘡、酒皰

【用法・用量】

1日2回患部に塗布する。朝は上清液、晩は混濁液を用いる。

【使用上の注意】

1.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類/頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発赤、発疹等
皮膚	皮膚炎

注)このような症状があらわれた
場合には使用を中止すること。